

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.156

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: info@chiba.life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「ネット時代に遅れをとる教会」

日本キリスト改革派銚子栄光教会 牧師 小林義信

先日、ある方から電話を頂きました。「フェイスブックを見たのですが、教会は何時から始まりますか」と言うお問い合わせでした。「十時半からです。アクセスについてはホームページないし、グーグルアースをご覧ください」とお答えしました。来られたその方の手にはスマートフォンが握られ、「おかげでスムーズにこられました」と、言っておられました。今日このように、10年前では聞いたことの無かったカタカナ語が普通となり、必要な情報は簡単に指一本で検索できるようになり、キリスト教の用語も聖書の言葉も一般の人々の目に止まるようになったのであります。現代の20代～30代の方は、毎日のニュースや論評はスマートフォン（ユーチューブ）から受け取り、新聞やTVを見ないという人が70%を越えたとされています。

このような情報を巡る技術の大転換時代を迎えて、教会はそこから大きく取り残されている側面があるのではないのでしょうか。情報発信を相変わらず古典的なペーパー（チラシ）に頼り、NTTの電話機やFAXに頼っているのではないのでしょうか。当教会では、執事・長老との日常の事務に関わる出来事については簡単な双方向通信であるLINEを用い、あるいは電子メールで迅速な意思決定に役立てております。これらのツールもグループ化すれば全員に瞬時に用件が伝わり、早いレスポンスが得られます。相手が在宅であろうとなかろうと確実に伝わります。ただ、そうは言っても未だガラ携の方はこの流れに追いついておりませんし、私共の教派においても高齢の牧師・長老の中にはこの傾向に反発を示し、決して自分のスタイルを変えない方が居られますが、これが如何に他の方の利便性を阻害しているかと言う事が理解されていない結果であります。

これから教会に行ってみたいと思う方々は、その情報はスマートフォンから得るのが普通の時代となった時に、伝道の不振を単に日本の特殊性に矮小化するのではなく、情報発信のあり方を変え人々の魂の飢え渴きに時間をおかずに対応する体制を取ることが大事なのではないのでしょうか？

教会の青年会では、LINE上で、牧師との対話ができるようになっており、この関連で教会に結び付けられた方々の中からは受洗希望者も輩出されています。時代の変化に対応する教会の再建こそが、リバイバルへの一つの道ではないのでしょうか。

お茶の間に福音！

チバテレビ土曜あさ7時、心をいやす30分「ライフ・ライン」

ご家族でお楽しみ下さい。